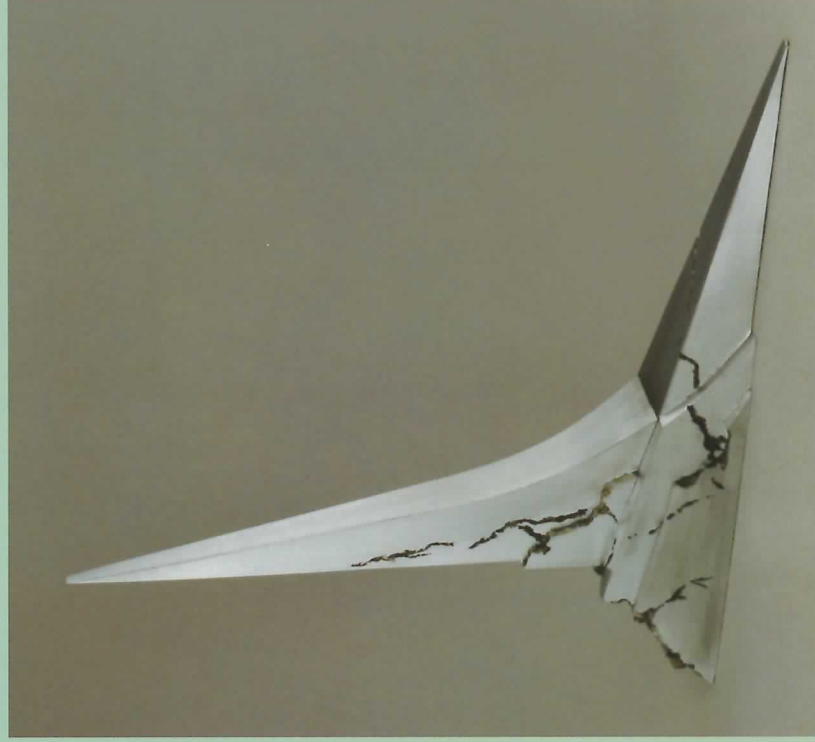


はぐくみ会だより

第 45 号

平成30年4月1日

「未来へ」



六家 敬吉 作

(第37代 校長)

私たち人間は現代社会において、多くの事象が自分たちの思いように変化させることができるように思っています。それはあたかも、人間が自然を凌駕したかのようにすら感じます。

しかし、それは本当でしょうか。人間が作り上げているのは、「バベルの塔」ではないのでしょうか。

自然が、人間にとって「ほんの少し不利な動き」をするだけで、良くて社会機能が止まる。悪くすれば、多くの尊い人命が失われます。

このような現代であるからこそ、私たち人間が本当に「進まなければならぬ方向」「自然への対応」はどうかあるべきかを考えるため、本作品を制作しました。

略歴

- 1959年 富山県高岡市生まれ
- 1981年 日本現代工芸芸術展 初入選
- 1983年 日展初入選 以来24回入選
- 1985年 日本現代工芸芸術展 現代工芸賞受賞
- 1991年 富山県勤労者芸術展 審査員 富山県 県展賞受賞
- 1993年 富山県 県展大賞受賞
- 1997年 富山県 県展優秀賞
- 2000年 日本現代工芸芸術展 現代工芸本委員会賞受賞
- 2001年 富山県勤労者芸術展 審査員
- 2008年 富山県 県展審査員 以来3回

現任

- 日展委友 現代工芸美術家協会 本会員 富山県展会員
- 富山県美術連合会 理事
- 富山県工芸作家連盟 常任委員

その他授賞

- 富山県展：奨励賞 富岡市展：市教育委員会賞

公共の場の作品

- 大門大橋・錦織新米蒸籠 高岡及び親柱のデザイン
- 富山県立富山西高等学校 前庭エニメント

第24回 青井中美展

11月16日(木)～
12月3日(日)

県内41校の中学校や特別支援学校から
573点の応募があり絵画、彫刻、工芸、
デザインの分野から秀作作品276点入選、
入賞した。

●青井大賞「自分をみつめる」

高岡市立茅野中学校 一年 高島 吉平



●富山県教育委員会教育長賞「道すがら」

射水市立大門中学校 三年 橋本 鴻暉



各賞受賞者

青井大賞	高島 吉平 (茅野)
富山県知事賞	谷崎 愛唯 (戸出)
富山教育委員会教育長賞	橋本 鴻暉 (大門)
最優秀賞	石崎 千遥 (戸出)
優秀賞	木野 本陽咲 (早月)
富山新聞社優秀賞	松長 愛 (城端)
チャレンジ賞	濱本 花菜 (西條)
優良賞	牧田 衣織 (早月)
優良賞	上野 真菜 (高陵)
富山新聞社優良賞	松浦 歩那 (庄西)
富山新聞社優良賞	高井 麻帆 (高岡西部)
チャレンジ賞	田中 なつ (井波)
チャレンジ賞	籠浦 莉央 (桜井)
佳作	菊地 若奈 (国吉)
佳作	池田 奈苗 (高陵)
佳作	辻 心愛 (津沢)
佳作	岩島 楓也 (八尾)
佳作	山崎 海香 (小杉)
佳作	森川 愛実 (大門)
佳作	福島 あかり (八尾)
佳作	西森 和奏 (出町)
佳作	上田 宗弘 (福岡)
佳作	中橋 和奏 (大谷)
特別賞	関藤 瑞紀 (南星)
特別賞	高尾 菜納子 (戸出)
特別賞	栗 珠里緒 (庄西)

平成29年度 課題研究作品展

「ものづくり学習を経て」
 教頭 中尾 公一

平成29年度課題研究作品展が、平成30年2月17日(土)から3月7日(金)まで本校の青井記念館において開催されました。

「課題研究」とは、自ら課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図ると共に、問題解決に向けて意欲的に取り組む能力や自発的、創造的な学習態度を育てることをねらいとした科目です。本校では、3年生がこの「課題研究」の授業を中心に、個人またはグループで、1年をかけてテーマの設定から、構想、調査・研究・実験、作品製作まで行っており、展示された作品は、本校三年間でのものづくり学習の集大成といえるものです。

本作品展に先立ち、1月下旬に各科内で発表会を実施し、そこで選ばれた各科の優秀作品の全校発表会を2月14日(木)に行いました。代表に選ばれた各作品は、無論目を見張るものばかりでしたが、選に漏れた作品にも創意と工夫に富んだ力作が数多くありました。3年生の皆さんには、この経験を糧に、今後も各自の技量を磨き、更なる高みを目指して飛躍されることを祈念

しています。

最後となりましたが、本作品展に足をお運びいただきまして多くの皆さま方にご心より感謝を申し上げます。



2月17日(土)～3月2日(金)

第117回 木村宇多佳 展

12月16日(土)～1月14日(日)

絵画、イラスト、デザイン30点を現役学生で4年間の成果を披露した。

木村宇多佳 ……(平成26年デザイン・絵画科卒)
 高校を卒業したらこれまでの制作してきた作品は、デッサン、油絵、デジタルイラストなどと、ジャンルも絵柄も異なるものばかり

第116回 白美術館 展

12月16日(土)～1月14日(日)

創作活動の原点、富山の雪景色からの連想で「しろいもの」をモチーフにした油絵4点、日々感じる喜怒哀楽を猫に託してイラスト約40点を展示した。

石田芳美 ……(平成23年デザイン・絵画科卒)

初めての個展を無事終えて、あらためて絵を通して繋がる人や物に感動しています。個展のために協力して下さった方、見に来てくださった方、有難う御座いました。

今回の展覧会ですが、自分が一番楽しいことをして自己満足する。それがまず大事じゃない?という言葉をある人から言われました。それを胸に、ねこちゃんといひ世界を作り上げました。満足いつたかと問われると、やりの足りない気持ちはあります。その思いを次の展開にもつていきつつ、絵のある生活をもっと広めて、もっと充実させていきたいと思っています。絵に出会えたこと、それは私にとって一番の幸せです。それではまたどこかで、私のねこちゃんこと、ころーまる?よしーまる?とどこかでお会いしましょう。

同窓生ギャラリー

第118回 VII Memory 展 Minato Yuki

3月7日(水)～3月21日(水・祝)

風景や人物、理想とする幻想的世界を表現した作品、50点展示した。

淺 友希 ……(平成30年デザイン・絵画科卒)

- 「自分だけの思い」
- 1、人が管理している場所の中に潜む自然的な部分を切り取り、「人間が関わることの出来ない神秘的な空間」「実際に見ることの出来ない色彩」を持った幻想的で美しい世界観を目指し、風景を中心とした撮影しています。
 - 2、日常生活に新しい刺激を与え、リフレッシュして欲しい、自分には無い考えや魅力を感じ取り、同じような日々から毎日を変えられるような感性を養って欲しいという思いがあります。普段、目にする事が出来ない色彩豊かで幻想的な世界を目指しています。
 - 3、その場で感じた自分の中にしかない世界、独自の世界を多くの人に伝えたい。また、独自の世界観を追求しながら撮影をしています。

でした。「美術」というジャンルとは少し離れているパソコンを用いたイラストも、展示してよいか不安でしたが、館長さんが快く受け入れて地域の友人、家族、親戚、先生、後輩のみなさんなど…想像していたよりずっとたくさんの方が見に来てくれました。これから創作活動を続けるにあたって、前向きになれる言葉をたくさん頂きました。とても嬉しかったです。これから社会人になります。創作活動を続けていきたいと思ひます。ありがとうございました。



収蔵作品展 Ⅳ期

3月24日(土)～4月22日(日)

創立120周年記念展

昭和後期～平成現代

第8代校長浅野廉の飾り皿「太陽があたらぬ世界」、ドラえもん作者の藤本弘の原画、日本芸術院賞受賞された大角勲の「斜度の光年Ⅲ」、藤森兼明の「ラピスのイコン」、イコンの柵」など30点を展示した。

サンフランシスコ万博覧会に出品された寺田元吉の日本画の「猫の図」、重要文化財保持者(人間国宝)金森映井智の象嵌花瓶、日展理事を務めた山崎覚太郎の漆絵など32点を展示した。また、学校敷地内にある銅像を手掛けた卒業生を解説するパネルも展示した。

収蔵作品展 Ⅲ期

1月20日(土)～2月12日(月・祝)

創立120周年記念展

大正期～昭和前期

企画展

●ギャラリーD (デザイン(絵画科全学年))

1～3年生約120人がデザイン・絵画の学習成果を披露した。

……………デザイン・絵画科 二年 俣田亜紗子

私は実習作品の他、クリエイターコンテストに出品したタイプグラフィニ点を展示しました。テーマは「街」からイギリスの首都ロンドンを選び、その調査から始めました。結果、バツや時計、ロンドンの建築様式であるチューター様式を作品に生かしました。実物を見にハロウへ行ったり、図書館でチューター様式を調べたりして、自分の中で忘れかちな「足を運ぶ」ということを今回の制作で出来たので良かったと思います。幾つかの案の中から三点選んだ理由は、やってみたい・挑戦してみよこと思ったからです。入賞はしませんでした。前に悩み出すきつかけとなった事が良い経験になりました。また展示されている作品を見て、どの学年からも学び、取り入れたい事が多くありました。様々なものから意味を見つけ、人の想いを読む事を訓練していること強く思える制作展でした。

……………デザイン・絵画科 一年 浦山 暁

第三回制作展に参加し、友達や先輩方の作品を見ることは、とても意義のある機会となりました。善悪のヒントを得ただけでなく、三年生でのコース選択の参考となったためです。作品の中で特に目を引いたのは、エアブラシを用いて描かれた、数々のリアルイラストレーションでした。見る度に写真かと目錯覚しそうになります。完成までの工程と時間を想像するのも楽しくなるくらい「やりたい」と思いました。今回の制作展で得たものは多く、どの作品からも創作意欲を刺激されました。ここで得た「熱」を、僕は今後の制作に注いでいきたいと思っています。

●工芸科作品展 (工芸科1・2年)

1、2年生約60人が創造性あふれる作品100点以上展示した。

「工芸科作品展」に出品して……………工芸科 一年 渡辺 尚乃

私は「工芸科作品展」に3点出品しました。中でも特に頑張ったのは、木工の授業で製作した箸です。その箸は男女一対になっており、そろそろハート形になります。常任担任の先生から「皆の将来の目標は幸せになること」と言われており、その言葉を作品にしました。

材料に選んだのは、白くて良い香りがするメイプル材です。自分の使いやすい長さで切った後、カンナで少し削り形を磨きます。三角刀でハートを彫って完成です。慎重に心を込めて彫り、お気に入りの箸になりました。

私は、二年生の選択授業で木材工芸コースを選びました。これからの二年間多くのことを学び将来に生かせるようにしたいです。

1月20日(土)～2月12日(月・祝)



はぐくみ会会員募集のお知らせ

年会費(年1回納入)

- ・一般会員(個人) 2,000円
- ・特別会員(企業・団体) 10,000円
- ・会費納入は左記へお願いします。

(直接事務室へ納入も可能です。)

銀行 富山県信用組合高岡支店
口座番号 20111105
富山県立高岡工業高等学校
青井記念館美術館はぐくみ会

郵便局 口座番号 00710-0-31397
富山県立高岡工業高等学校
青井記念館美術館はぐくみ会

詳細は青井記念館美術館の事務担当までお問い合わせください。

連絡先 高岡工業高校
TEL (0766)21-1630(代)

編集発行

富山県立高岡工業高等学校

青井記念館美術館はぐくみ会

住所 〒931 8518 高岡市中央一-1-10

TEL (0766)21-1630

FAX (0766)21-1631

3月17日(土)～4月22日(日)